

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
なかよしのき	3	○挿絵を見ながら気づいたことを話し、話を想像しながら物語を楽しむとともに、国語学習への関心や意欲をもつ。	○姿勢や口形、発声に注意して話している。	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	○進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を話し合おうとしている。
くまさんとありさんのごあいさつ	3	○登場人物の様子を考えながら、楽しく音読する。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	○進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。
ほんをよもう	3	○読みたい本を探して読んだり、読んだ本について友達や先生に話したりして、読書を広げる。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○	○積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって感想を伝え合おうとしている。
けむりのきしゃ	5	○文章と挿絵を結びつけながら、場面の様子について人物の行動を中心に想像を広げながら読む。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	○進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって登場人物に手紙を書こうとしている。
みんなにはなそう	4	○身近なことや経験したことから話題を決め、必要なことを思い出して、順序を考えて話す。	○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っている。	○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでい	○積極的に丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付け、今までの学習を生かして身近なことを話そうとしている。
すずめのくらし	6	○問いの文や写真に導かれながら、すずめについて説明した文章を読む。	○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及を読み、書いている。	○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。	○積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを紹介しようとしている。

しらせたいことをかこう	12	○身近なできごとや経験から知らせたいことを選び、簡単な文章を書く。	○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	○積極的に長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解し、学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。
おおきなかぶ	6	○繰り返しの展開を楽しみながら、場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げて読む。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	○進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。
えにつき	4	○身のまわりのできごとや経験したことを、絵と文で表現する。	○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	○積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして絵日記を書こうとしている。
なつのおもいでをはなそう	5	○相手の話の内容を受けて話したり、自分からすすんで話したりする	○姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。 ○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	○積極的に話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習の見通しをもって質問や感想を言おうとしている。
けんかした山	6	○場面の様子を想像しながら、お話を読む楽しさを味わう。	○当該学年に配当されている漢字を読んでいる。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	○進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって考えたことを発表したり文章にまとめたりしようとしている。
だれが、たべたのでしょう	7	○問いの文と答えの文や写真と文の対応に気をつけながら、動物の食べ跡について説明した文章を読む。	○文の中における主語と述語との関係に気付いている。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。	○積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを話そうとしている。

<p>たのしかったことをかこう</p>	<p>13</p>	<p>○日常生活の中から書くことを見つけ、簡単な文章を書く。</p>	<p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</p>	<p>○進んで経験したことから書くことを見つけ、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。</p>
<p>見つけたよ、いきものひみつ</p>	<p>6</p>	<p>○生き物と触れ合ったことや見聞きしたことを思い出して書く。</p>	<p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○積極的に経験したことから書くことを見つけ、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。</p>
<p>はたらくじどう車 「のりものカード」でしらせよう</p>	<p>15</p>	<p>○自動車の「やくわり」と「つくり」に気をつけて読み、乗り物のことを紹介する文章を書く。</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。  ○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。  ○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</p>	<p>○進んで時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことを説明しようとしている。  ○進んで事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「のりものカード」を書こうとしている。</p>
<p>えを見ておはなししよう</p>	<p>5</p>	<p>○絵を見て話題を見つけ、友達と話したり、友達の話を受けて答えたりする。</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っていると、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。</p>	<p>○進んで話題を決め、学習課題に沿って少人数で話し合おうとしている。</p>

うみへのながいたび	10	○写真と文から誰が何をしたかを読み、写真から言葉を想像してお話を書く。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	○進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えた言葉を発表しようとしている。
スイミー	5	○人物の動きや場面の様子の楽しさを読み、読書の世界を広げる。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	○進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って考えた言葉を発表しようとしている。
みぶりでつたえる	14	○文章と絵の対応に気をつけながら読み、いろいろな身振りが表すことを説明する文章を書く。	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもってしている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	○積極的に文章の内容と自分の体験とを結びつけて、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
学校のことをつたえあおう		○学校で働く人に、知りたいことを尋ねて、聞いたことをメモをもとに学級のみんなに知らせる。	○姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 ○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもってしている。	○進んで伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫し、今までの学習を生かして聞いたことを伝えようとしている。

<p>おもい出のアルバム</p>	<p>8</p>	<p>○経験したことや見たことを思い出し、わかりやすい文章を書く。</p>	<p>○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 ○「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。</p>	<p>○積極的に文章に対する感想を伝え合い、学習の見通しをもってよいところを伝え合おうとしている。</p>
		<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>